

# 2022年3月期 第3四半期 決算説明資料

第98期：第3四半期累計期間  
(2021年4月1日～2021年12月31日)

2022年2月2日

太平洋互業株式会社

1. 第3四半期業績
2. 2021年度通期予想

### 本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

# 1-1 3Q 連結業績



## 業績は前年同期を上回り、利益は過去最高を更新

(億円、%)

	2020年度 3Q累計実績	2021年度		前年同期比	
		※1	3Q累計実績	増減	増減率
売上高	1,080	※1	1,200	+120	+11.1
営業利益	49	過去最高	77	+28	+56.8
営業利益率	4.6%		6.5%	+1.9P	-
経常利益	58	過去最高	100	+41	+70.9
経常利益率	5.4%		8.4%	+3.0P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	42	過去最高	74	+31	+73.4
四半期純利益率	3.9%		6.2%	+2.3P	-
平均為替レート (米ドル)	105.7円		110.9円	+5.2円	-

※1 2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額は以下の通りです。利益への影響は軽微です。

売上高は、金型費用回収の一括認識により5億円増加、客先受給品の売上高と売上原価の相殺表示により33億円減少しております。

# 1-2 3Q 連結売上高 増減要因



顧客の生産変動に追従し、販売物量増

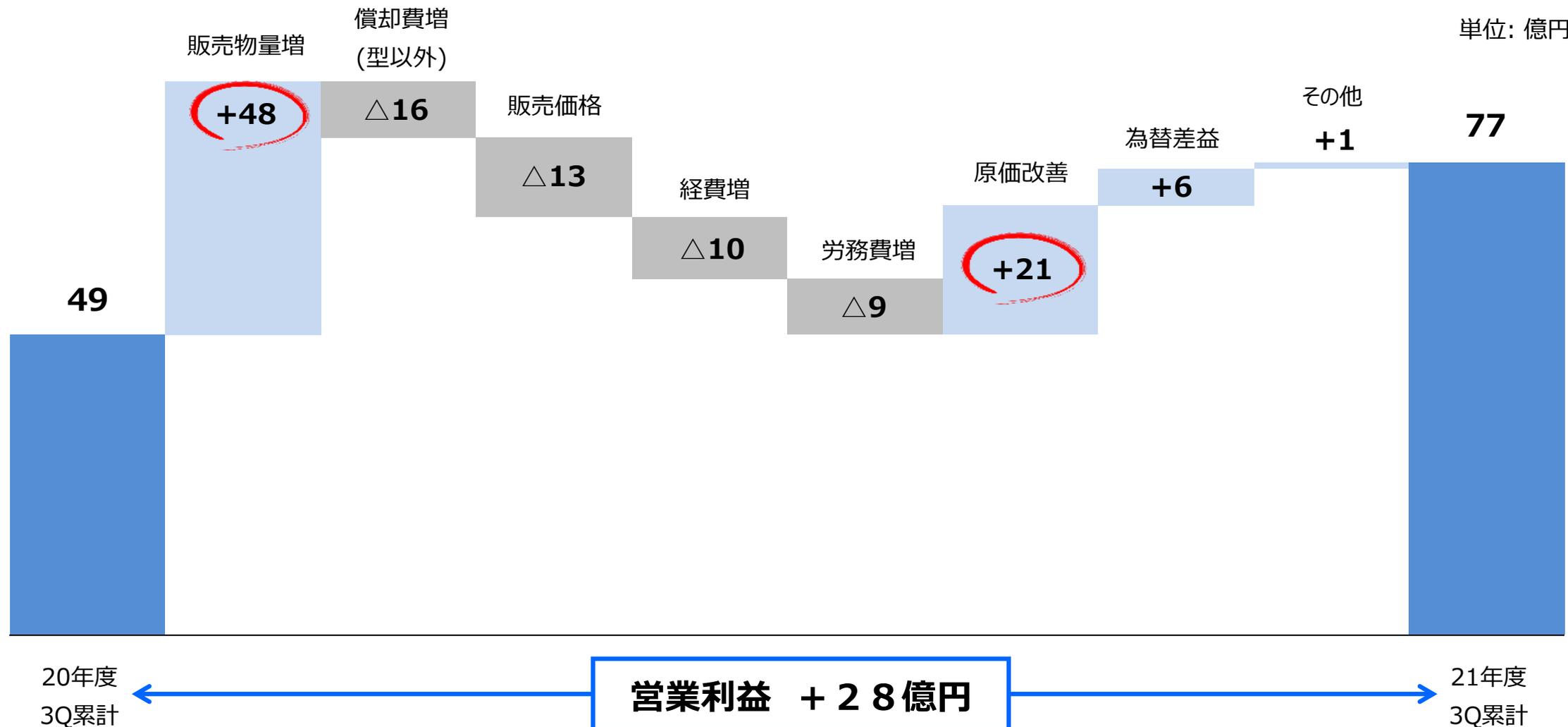
単位: 億円



# 1-3 3Q 連結営業利益 増減要因



販売物量増と原価改善により、過去最高益を達成



# 1-4 3Q 連結事業別セグメント



## プレス・樹脂、バルブともに増収・増益

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	20/3Q 累計実績	21/3Q 累計実績	前年同期比		20/3Q 累計実績	21/3Q 累計実績	前年同期比	
			増減	増減率			増減	増減率
<b>プレス・樹脂</b>	755	829	+73	+9.7	18	32	+14	+76.5
(収益認識適用の影響)		※1 (△28)						
営業利益率					2.5%	3.9%	+1.4P	
<b>バルブ</b>	323	369	+45	+14.2	30	45	+14	+47.6
(収益認識適用の影響)		※2 (0)						
営業利益率					9.5%	12.2%	+2.7P	

※1 2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。

金型費用回収の一括認識により5億円増加、客先受給品の売上高と原価の相殺表示により33億円減少しております。利益への影響は軽微です。

※2 売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。利益への影響は軽微です。

# 1-5 3Q 連結地域別セグメント



日本は減収・増益(収益認識の影響を除けば、実質増収)、欧米・アジアは増収・増益

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	20/3Q 累計実績	21/3Q 累計実績	前年同期比		20/3Q 累計実績	21/3Q 累計実績	前年同期比	
			増減	増減率			増減	増減率
<b>日本</b>	511	507	△4	△0.8	31	46	+15	+50.4
(収益認識適用の影響)		※1 (△27)						
営業利益率					6.1%	9.2%	+3.1P	
<b>欧米</b>	373	455	+82	+22.1	3	8	+4	+132.7
営業利益率					1.0%	1.9%	+0.9P	
<b>アジア</b>	195	237	+41	+21.3	12	22	+9	+75.1
営業利益率					6.6%	9.5%	+2.9P	

※1 2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。利益への影響は軽微です。

1. 第1四半期業績
2. **2021年度通期予想**

# 2-1 通期 連結業績予想



## 4Qの最新顧客生産情報等を織り込み、通期予想(売上高、営業利益)を修正

(億円、%)

	2020年度	2021年度		前期比		前回予想比	
	実績	前回予想	今回予想	増減	増減率	増減	増減率
売上高	1,504	1,640	※1 1,610	+105	7.0%	△30	△1.8%
営業利益	89	105	100	+10	11.4%	△5	△4.8%
営業利益率	6.0%	6.4%	6.2%	+0.2P	-	△0.2P	-
経常利益	112	125	125	+12	11.4%	+0	0.0%
経常利益率	7.5%	7.6%	7.8%	+0.3P	-	+0.2P	-
※2 当期純利益	79	90	90	+10	12.8%	+0	0.0%
ROE	7.6%	7.7%	7.6%	+0.0P	-	△0.1P	-
ROA(営業利益ベース)	4.2%	4.6%	4.3%	+0.1P	-	△0.3P	-
一株当たり純資産	1,846円	2,018円	2,049円	203円	11.0%	+31円	1.5%
平均為替レート(米ドル)	105.4円	110.0円	110.7円	5.3円	-	0.7円	-

※1 2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額は以下の通りです。利益への影響は軽微です。

売上高は、金型費用回収の一括認識により10億円増加、客先受給品の売上高と売上原価の相殺表示により45億円減少を見込みます。

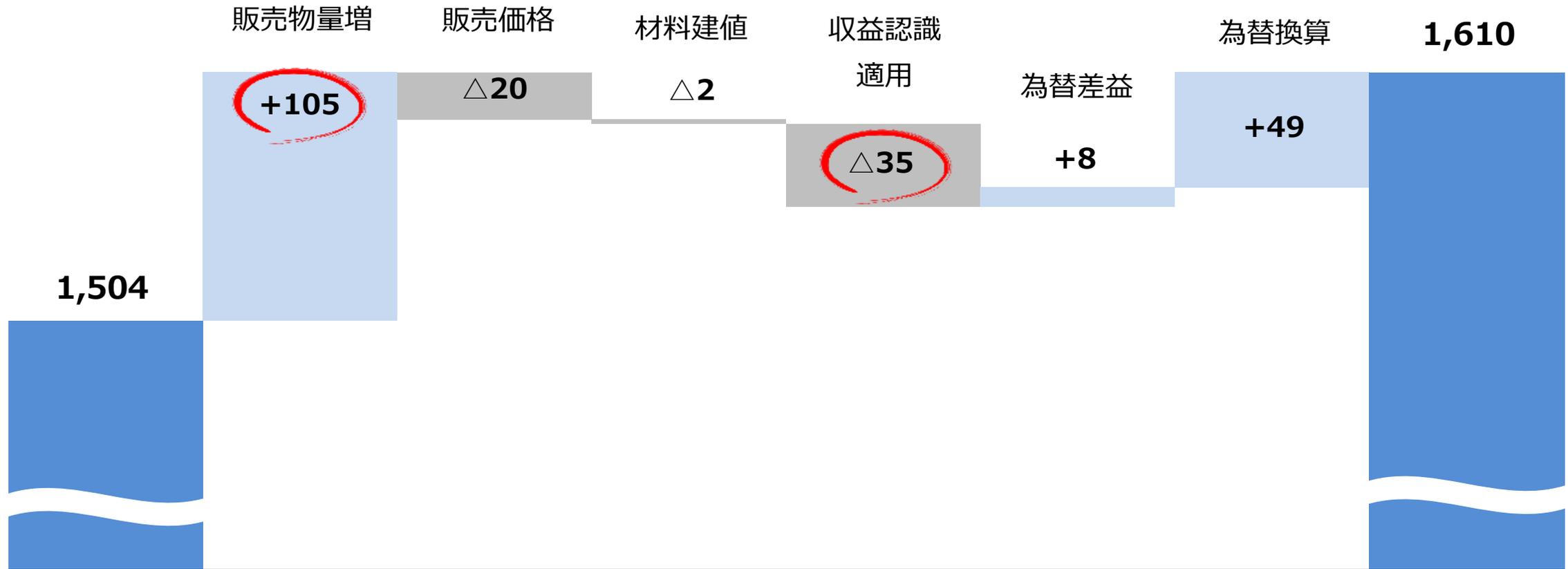
※2 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益です。

# 2-2 通期 連結売上高 増減要因



顧客の生産変動に追従し、販売物量増

単位: 億円



20年度



売上高 +105億円

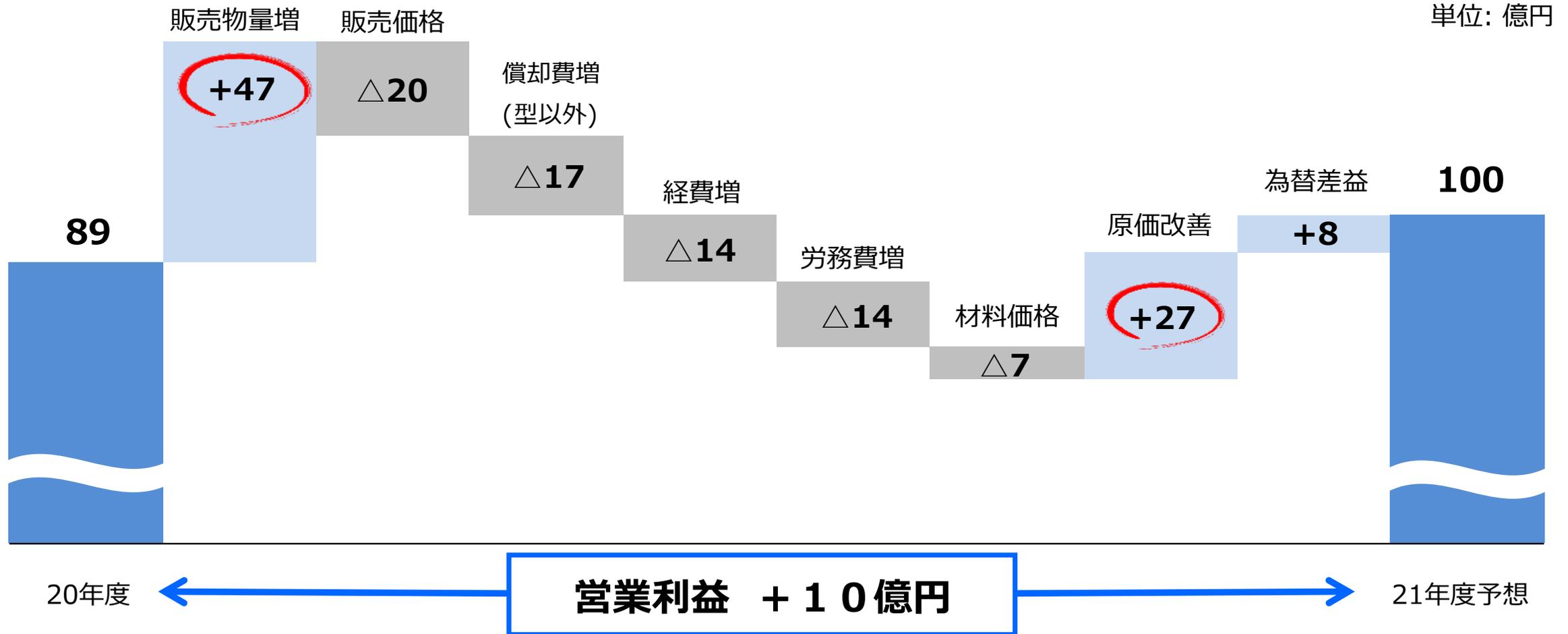


21年度予想

# 2-3 通期 連結営業利益 増減要因



販売物量増と継続的な原価改善で増益を見込む



## 2-4 通期 連結事業別セグメント



### プレス・樹脂、バルブともに増収・増益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	20年度 実績	21年度 予想	増減	増減率	20年度 実績	21年度 予想	増減	増減率
<b>プレス・樹脂</b>	1,045	1,122	+76	+7.4	39	41	+1	+4.8
(収益認識適用の影響)		※1 (△35)						
営業利益率					3.7%	3.7%	+0.0P	
<b>バルブ</b>	457	485	+27	+6.1	49	59	+9	+18.0
(収益認識適用の影響)		※2 (0)						
営業利益率					10.9%	12.2%	+1.3P	

※1 2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。

金型費用回収の一括認識により9億円増加、客先受給品の売上高と原価の相殺表示により45億円減少を見込みます。利益への影響は軽微です。

※2 売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。利益への影響は軽微です。

## 2-5 通期 連結地域別セグメント



日本は減収・増益(収益認識の影響を除けば、実質増収)、欧米・アジアは増収・増益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	20年度 実績	21年度 予想	前期比		20年度 実績	21年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
<b>日本</b>	702	686	△16	△2.4	51	55	+3	+6.2
(収益認識適用の影響)		※1 (△35)						
営業利益率					7.4%	8.0%	+0.6P	
<b>欧米</b>	523	591	+67	+12.9	15	16	+0	+2.1
営業利益率					3.0%	2.7%	△0.3P	
<b>アジア</b>	277	333	+55	+19.9	18	26	+7	+36.9
営業利益率					6.8%	7.8%	+1.0P	

※1 2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。利益への影響は軽微です。

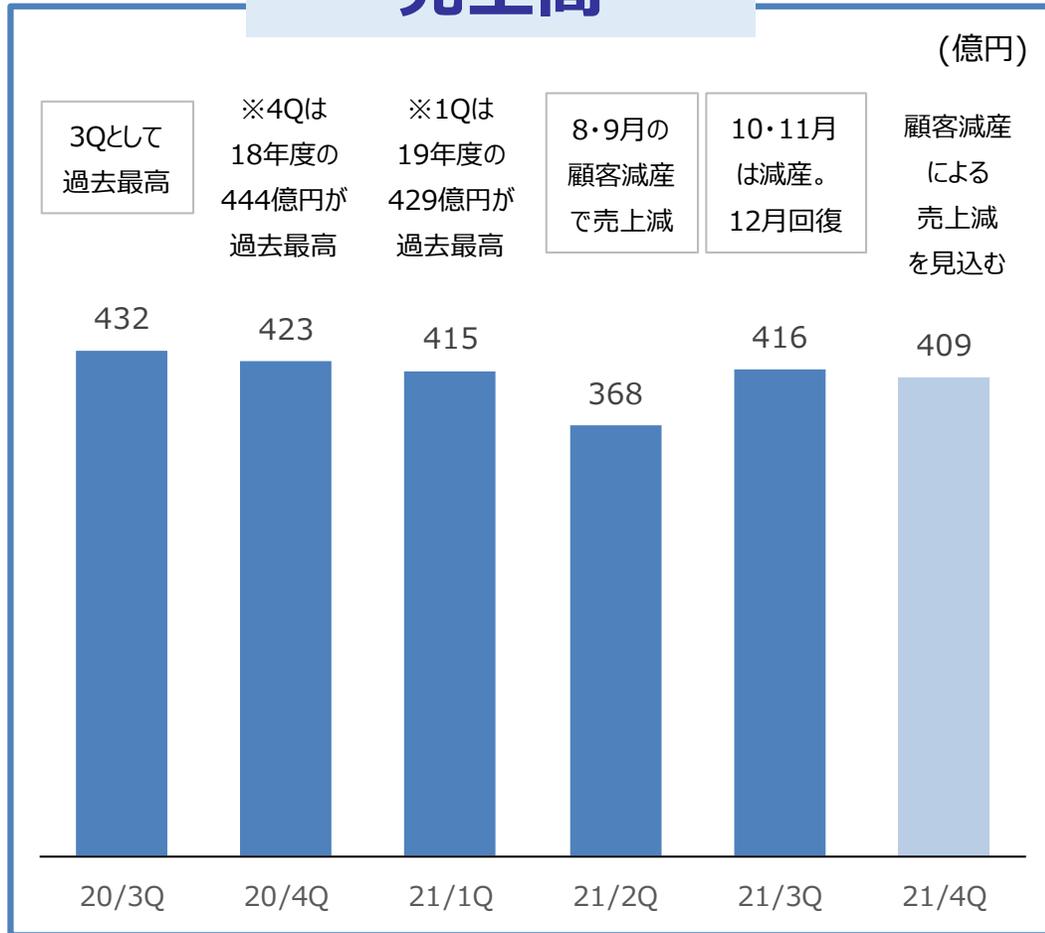
# 2-7 四半期別 連結業績推移



3Qは顧客生産変動に伴う固定費が発生、4Qは足元の顧客減産を織り込む

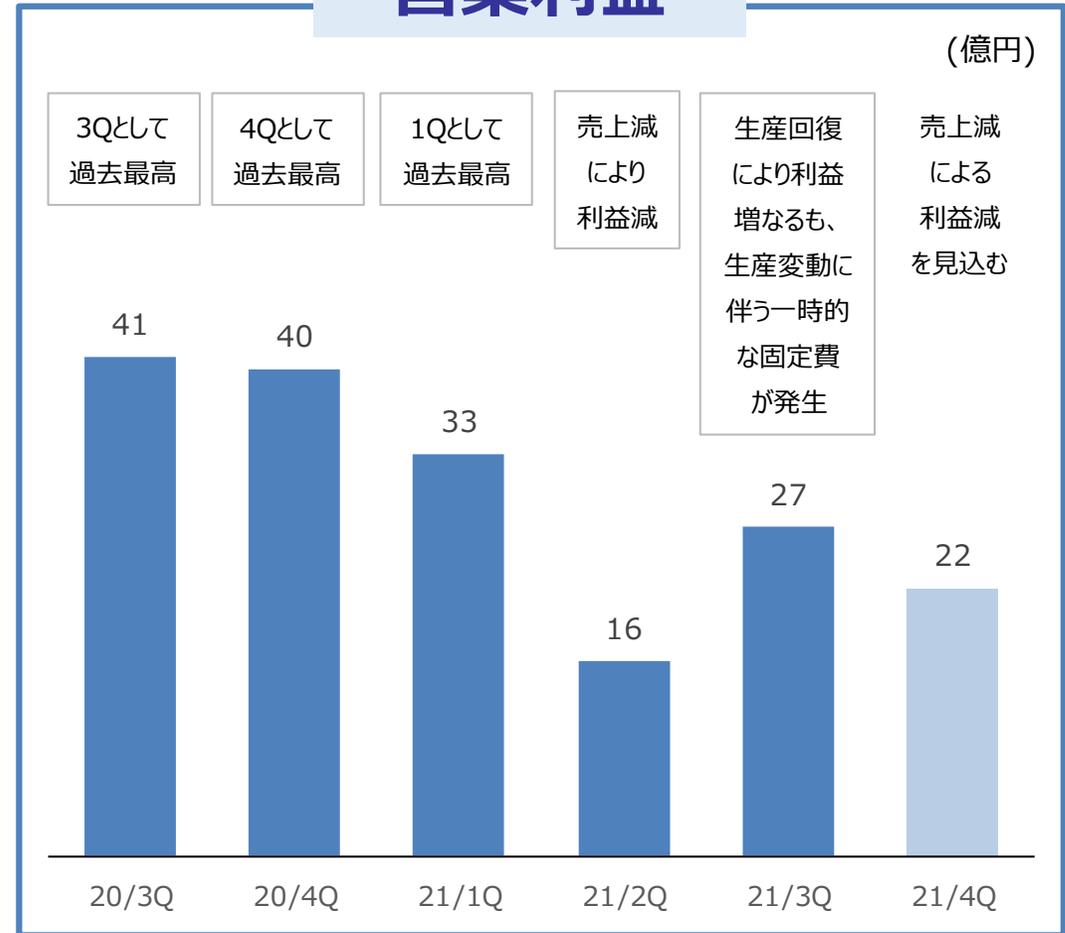
## 売上高

(億円)



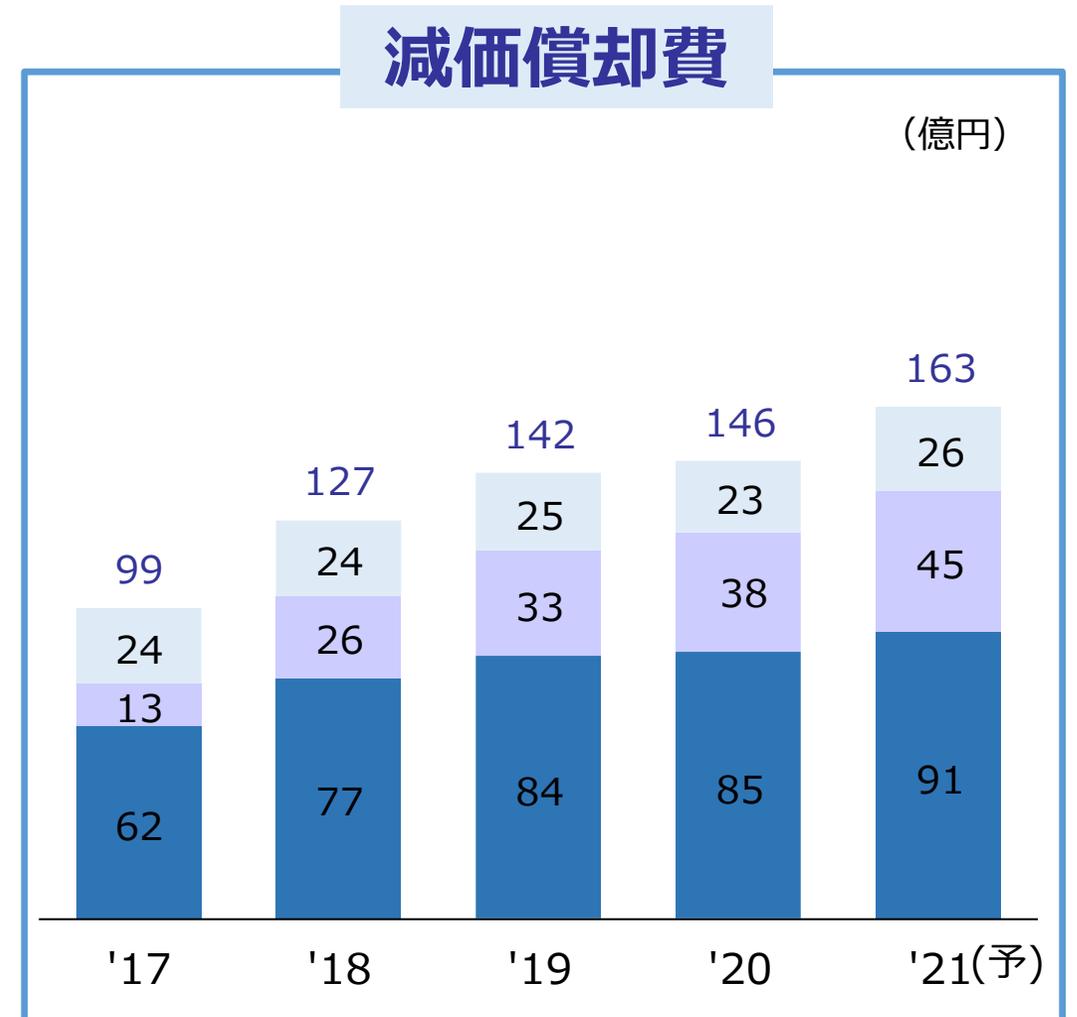
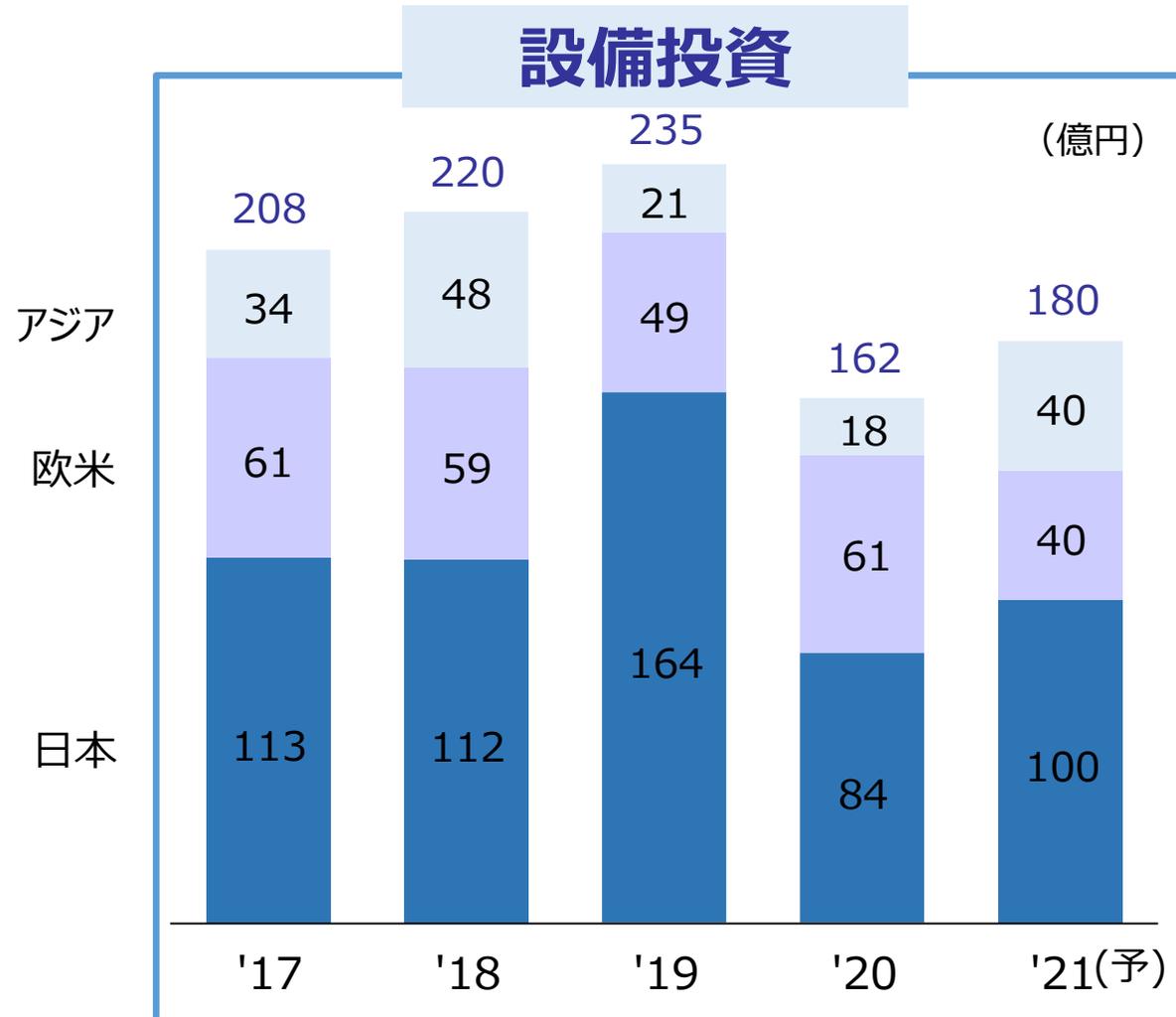
## 営業利益

(億円)



# 2-8 連結設備投資・減価償却費

設備投資は効果の大きなもの・早く出るものを優先して実施



## 2-9 3Q振り返り、来期に向けた課題

感染防止・雇用・生産体制維持を第一義にGLOBALに足元固め

### ■ 3Q実績

- ・コロナ第5波からの回復、前回予想並で着地
- ・生産変動ロスはあるものの、**収益改善で体質は強化**

### ■ 通期予想

- ・オミクロン株拡大による経済活動停滞
- ・半導体等、部品供給不足による生産変動
- ・大增産予想から修正、**改善した体質を維持して利益確保**

### ■ 22年度

- ・コロナ影響の長期化、中国での経済活動停滞
- ・半導体・部品供給懸念の継続
- ・挽回生産に向けた体制準備、**増産効果の最大化**
- ・OCEAN-22最終年度、**新中期経営計画発表予定**



思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow